

### 第3章 稲城市介護支援ボランティア実施状況アンケート調査結果(平成20年度)

#### 1 調査目的

介護支援ボランティア登録者について、介護支援ボランティア活動状況並びに制度への感想・要望を明らかにし、今後の制度運営への資料とする。

#### 2 調査方法等

1. 調査対象 介護支援ボランティア登録者 284人
2. 調査方法 郵便による送付・回収
3. 調査時期 平成21年1月
4. 回収結果 有効回収数 208 (73.2%)

#### 3 調査結果

1. 居住地区・・・市内全域で登録されている。平尾地区が76人で登録者数が最多である。地区別人口比率からみると平尾地区、押立地区の登録者率が高く、ニュータウン地区(向陽台・長峰・若葉台)が少ない。また、高齢化率の高い平尾地区に登録者率が高く、高齢化率の低い若葉台地区の登録者率に低い傾向が見える。
2. 介護認定の有無・・・大多数が認定は受けていないが、要介護認定者も少数(5人、2.4%)ながら登録している。
3. 活動範囲の拡大について・・・過半数の登録者が、ごみ出しなどの在宅高齢者の方へのちょっとした支援の拡大を希望している。
4. 評価ポイントの活用方法・・・今までどおり現金の交付を希望する登録者が約7割を占めた。続いて、市内商品券と2割の登録者が回答した。また、将来の自分の介護サービス費として使いたいという回答も少数ながらあった。
5. 制度についての自由記載・・・肯定的な意見として、高齢者に元気を与える良い制度だと思う。励みになっている。健康である限り、続けたいなど。否定的な意見として、金銭が絡むことに抵抗がある。この制度に(自分としては)意味がないなど。制度改善などについては、スタンプをもらうのが煩わしい。ポイントの上限を上げて欲しい。広報、周知に力を入れても

っと広めた方が良いなど。その他の意見としては、介護士の方の大変さが分かったなど。

6. ボランティア活動の経験・・・この制度以前からボランティア活動をされていた方は、8割弱、この制度をきっかけにボランティア活動をはじめた方は、7%程度（14人）という回答があった。
7. 活動実績について・・・19年度の活動実績（スタンプ数）は、20人前後で均等に分布している。4分の1が、19年度の手帳をもっておらず、20年度に登録された登録者である。
8. 20年度の活動実績は、すでに50回以上に達した方が、4分の1弱あり、活発に活動されていることがわかる。また、5.9%（11人）が、19年度に登録したが、20年度に手帳の更新をしていない。
9. 活動の種類・・・多岐に渡っている。昨年実施のアンケート結果とほぼ同じ傾向を示している。
10. 活動の場所・・・特別養護老人ホームでの活動が4割以上を占める。その他の活動場所も含め、昨年実施のアンケート結果とほぼ同じ傾向を示している。
11. 健康観の変化・・・張り合いが出てきたとの回答が過半数。昨年実施のアンケート結果とほぼ同じ傾向を示している。
12. 制度の評価・・・良い制度だと思ふとの回答が8割弱であり、昨年実施のアンケート結果（70.5%）と比べ上昇している。
13. 活動上の困り事の自由記載・・・ボランティア活動グループ内や活動上での問題、活動場所までの交通機関での困り事や要望、行政・制度へのご意見などがあった。

## 介護支援ボランティア制度アンケート

該当する項目に○印、またはご記入してください。

ご記入後のアンケートは、同封の返信用封筒をご利用になり、稲城市役所介護保険係へご返送してください。

締め切りは、平成21年1月23日です。

### 1. どちらにお住まいですか。(有効回答数 208)

① 矢野口	32人	15.4%	② 東長沼	20人	9.6%
③ 大丸	18人	8.7%	④ 百村	8人	3.8%
⑤ 坂浜	5人	2.4%	⑥ 平尾	76人	36.5%
⑦ 押立	13人	6.3%	⑧ 向陽台	20人	9.6%
⑨ 長峰	5人	2.4%	⑩ 若葉台	2人	1.0%
無回答	9人	4.3%	合計	208人	100.0%

〔参考〕人口比率(21年2月現在外国人除く)、高齢化率(20年10月現在)

	人口比率	高齢化率		人口比率	高齢化率
① 矢野口	18.2%	15.6%	② 東長沼	13.9%	15.0%
③ 大丸	10.2%	19.7%	④ 百村	5.1%	15.8%
⑤ 坂浜	3.3%	21.3%	⑥ 平尾	13.2%	25.6%
⑦ 押立	5.3%	19.1%	⑧ 向陽台	11.3%	11.8%
⑨ 長峰	5.4%	12.3%	⑩ 若葉台	12.7%	6.9%

### 2. 現在、要介護認定を受けていますか。(有効回答数 208)

① 受けていない	195人	93.8%	② 受けている	5人	2.4%
無回答	8人	3.8%	合計	208人	100%

### 3. 介護支援ボランティアの活動範囲について、今後拡大したほうがよいと

おもうものはどれですか。(いくつでも可)(有効回答数 208)

① ごみ出しなどの在宅高齢者の方へのちょっとした支援	115 人	55.3%
② 市外の介護施設での活動	17 人	8.2%
③ 介護支援以外(例：子育てや障害者支援)の活動	57 人	27.4%
④ その他	11 人	5.3%

※④その他は、今までのまま。ひとり暮らし病人・高齢者の安否確認。蛍光灯交換等。粗大ごみ出し。市立病院での活動。パソコンなど。

### 4. 評価ポイントで、選びたいと思うものはどれですか。(いくつでも可)

(有効回答数 208)

① 今までどおり現金(振込)	141 人	67.8%
② 市内の特産物	16 人	7.7%
③ 市内の商品券	41 人	19.7%
④ 姉妹都市北海道大空町(旧女満別町)の特産物	20 人	9.6%
⑤ ヴェルディの試合観戦や記念品	4 人	1.9%
⑥ その他	15 人	7.2%

※⑥のその他は、ゴミ袋。市内バスの無料パス・パスモ。将来の自分の介護サービス費として。何もいないなど。

### 5. 介護支援ボランティア制度について、感じていることをご記入ください。

肯定的なご意見 37 件

70 才以上になると生きて行く事が、ただ、ただらだらとなってしまう事が多く、何かをしたくても何をしたいかわからない。そのような時に、この制度があることにより、金銭にかかわることなく、堂々とボランティア活動できることがうれしい。人生元気なうちは、堂々と身体を動かし続けることができればこんな幸せなことはないと思います。そんな場を与えてくれてありがとうございます。
生活のうえでお互い助け合い・支え合うことは、良い事だと思います。健康である限りボランティアをやりたいと思います。
良い制度だと思う。
ボランティアの結果、ポイントとなるのは良い事。ポイントが欲しくてボランティアをしているのではないという誇りはある。
良い事ですが自分が年なので・・・

自分達の健康に注意する様になり健康の有り難さを実感できる。
まだ受けていないが良い事だと思う。
お金を頂くので感謝しています。
長い間継続しているボランティアなので評価ポイントは思いがけない事で大変うれしくお年玉の様に思えます。
最初はおもはゆい感もあったが今はありがたく思っています。
大変良い制度で更に発展させて欲しい。高齢者でも出来る事を折にふれて紹介して欲しい。
十数年前からボランティアをして制度へ思いはありませんが、多少の励みにはなっています。
一生懸命ボランティアをやった。自分へのご褒美と思えてうれしい。
もっと早く制度が出来ていればと思います。
今まで10年もやりましたが、今度お金を頂く様になってありがとうございます。
大変良い事だと思う。1人でも多くの人に参加して欲しい。
昨年ボランティアをしておりましたが主人の病気の為今お休みしています。まだまだ元気の方が多いと思いますので、広めていただきたいです。
大変有難い制度だと思います。
良い事だと思う。
生活に張りが出て、利用者の方が愛おしく感じるようになりました。頂いたお金は少しプラスして寄付にあてています。
出会えた人に喜ばれるので故郷の知人・身内と話したり行動をしている気になれ、気持ち豊かになれる。
ボランティア活動には長く参加させて頂いています。自分が健康でお手伝いできればと思っています。この制度を作って頂き感謝しています。
デイにいられている方々と楽しく遊んでいます。明日は我が身と思いながら、まだ手助け出来ることを喜んでいます。
あくまでボランティアなので現金で頂くのは少し抵抗があります。将来何かの形でお返しして頂けたらと思うと張り合いが出来ます。
全国に先駆け稲城市がこの制度を設けた事は、各自治体から注目されていることでもあり、この制度を設けた事によって、新たにボランティア活動を始める人が増えるのではないかと、大変良い制度だと思います。
介護・その他の支援元気な人がチョットの優しさで行うことはとても良い事なので、稲城市のこの制度はとても良い事だと思います。
高齢者に元気を与える良い制度だと思う。
特別関心はないものの、出来ることで少しでも社会の末端に参加できることは気分が良い。有意義に今後発展して行ったら良いと思う。
もっと大勢の方に参加を呼びかけたい。

78 才で外でもボランティアが出来る事は幸せです。もっとPRして少しでも出来る人を増やせたら。。。
(スタンプの)数を増やすのが励み。
年齢差などあり、そのことが歌やお話のなかで沢山学ばせて頂きありがたく思っています。
活動は楽しくとても良い制度だと思う。
ボランティア活動をすることで本人の自立にも役立つと思う。
高齢者が多くなりますので助け合う制度で良い事だと思います。
良い制度とは思いますが、ボランティア活動を個人的に探すのはチョット困難に思われます。
友達と交流ができ仕事していても楽しく過ごせます。

否定的なご意見 5 件

金銭が絡む事に抵抗がある。
本来ボランティアは無償のものであると思っています。介護予防につなげるならば他の方法を考えるべきだと思う。時間について、1日6~8時間の人もスタンプ2個は不公平だと思う。
制度になる前から入りました。別に制度とは関係ないと思います。
私には意味がない。
個人に「物・金」をあげるから。。1つの考えとは思いますが「物・金」が無ければやらない稲城市民を行政から率先して作らないで欲しい。目一杯時間のある限り心の稲城革命をして欲しい。

制度改善などに関するご意見 20 件

正吉苑・いなぎ苑の方に踊りを見てもらう為に出かけていますが、時間が短い為ポイントは頂いていません。行き帰りに時間がかかるので、ポイントの発行を考えていただけたらと思います。
手帳を忘れる事が多く良い方法がないかと。例えば出欠表を確認にするなど。
制度が出来た点は理解するが、その中にはやはり一緒にボランティアをしてくださっている若い方々の力が非常に大きい。その中で高齢の人のみポイントを与えるという点、受けることに疑問を感じ心苦しく思う。
交通費の支給を願っています。この理由で活動していません。
活動の意志はあるが、活動の場が具体的にわかりにくい。
参加者が増加するようにPRする。
参加しやすいシステムになると良いと思う。
手続きが面倒。一度登録したら毎年継続できるポイントの確認を簡単にする。TVで拝見した千葉県流山市のボランティア参考。
現金より点数にしてほしい。いずれ要介護になったら優先的に入苑出来たらと思う。元気でいたいと思う。

担当者からスタンプをもらう煩わしさ。多忙なスタッフを探し回ったりバスの時間に合わせたり・・・ 従って実際のスタンプは 12 個で打ち止め。以後自分の記録(励みにする為)42 個となる。市外は 12 個。
なしの手帳が一杯になった後、追加手帳はいかがなものか。
近くでの老人施設でもっと声をおおきくしてボランティアの方を集められたらと思います。ボランティアをしている方にバッチをつける事で仲間を増やす事も出来るかな？
現金ではなく本人が介護を受けるようになった時に使ってほしいと思います。
転換交付金をもっと増やして欲しい。現在 5000 ポイントが限度だが倍くらい評価して欲しい。 郵送前の制度にして欲しい。わざわざ行くくらいならボランティアをしたい。
現金ではなくポイント制で自身に介護ポイントがもらえる様になると励みにもなると思います。
ボランティア手帳について。経費節減のため 1 年ごとに手帳を交付するのではなくスタンプ押印欄が埋まったら新しく交付する様にしてポイント活用申出書・登録申請書の枚数を増やしては如何でしょうか？
ボランティアが出来る仕事の内容を、もっと人々に知らせて参加を求めたらと思う。
きめ細かい支援が欲しい。例えば家庭にいる高齢者に支援(ゴミ出し・会話等)。
ボランティアとしては、この分野だけが恵まれすぎている。現金はやめたほうがいい。
良い制度とは思いますが、知らない方も多く、今一度広報に力を入れたらと思います。

その他のご意見 21 件

仕事はリタイアしたがまだ元気で家にずっといるなど話を耳にします。本人・稲城の為にもその様な方々にも気軽に参加できる様になれば・・・と思います。
施設も協力し援助をもっとして欲しい。
若い人ももっと気軽に参加出来るようになればと思います。
65 歳以上の方だけがスタンプをもらえるので若い方に申し訳なく思う。
活動に参加される方が多くなると良い。
時間の都合が付く限り協力したい。
不公平感をなくしたい。
この制度により若い人達がボランティアに関心を持つようになったか知りたい。
介護支援ボランティアの評価ポイントは、私は反対で少しは介護保険を安くして頂きたい。遺族年金の為楽ではない。
元気なうちは何らかの形で役立てればと思っている。
ボランティア同士のマナーよい方悪い方。
助け合って生きて行く事の大切さ。
芸能(歌謡曲)活動を月に 2~3 回していますが、ボランティアとしての評価に位置づけは？

このボランティア制度以前よりの延長線にありますので自然に参加しています。自分の健康に感謝していつまでも元気でいたいと思って居ます。
若い人への参加呼びかけ・子供たち(学校の生徒にも参加して欲しい)・お正月の神社へのボランティア・その他昔話をきいてもらえる人・掃除やベッドメイキング等協力を。
やりたいと思うが決断しにくい。
ヘルパー2級を取りましたが、まだ外では活用しないまま現在に至っております。 87歳の姑が3ヶ月見えたととき車椅子の上げ下げや、介護で暫くのあいだ腰を痛め肉体的には無理でも何かお手伝いでも・・と思っております。
自分の出来るボランティアをこれからも続けていけたらと、思っています。
週1回のボランティアでも介護士の方の大変さが分かりました。
同年代の人を支援する事なので、自分が健康であることをしみじみとありがたく思っています。
地域の貢献・高齢者自身の健康等に留意するようになればと思います。

## 6. これまでに、ボランティア活動をされたことがありますか。

(有効回答数 208)

① ボランティア活動をしたことがある	162人	77.9%
② 今回この制度を知り、はじめて介護支援ボランティア活動を始めた	14人	6.7%
③ 介護支援ボランティア登録をしているだけで、活動はしていない	18人	8.7%
無回答	14人	6.7%
合計	208人	100%

※ ③に印をつけた方は、ここでアンケートは終わりです。

①と②に印をつけた方は、次へお進みください。



7. 介護支援ボランティアの活動実績(スタンプの数)について伺います。

(有効回答数 187)

1)19 年度の手帳(桃色の表紙)のスタンプの数はいくつですか。

0 個	3 人	1.6%
1 個～9 個	16 人	8.6%
10 個～19 個	22 人	11.8%
20 個～29 個	24 人	12.8%
30 個～39 個	13 人	7.0%
40 個～49 個	19 人	10.2%
50 個～	22 人	11.8%
無回答	18 人	9.6%
手帳をもっていない(登録していなかった)	50 人	26.7%
合計	187 人	100%

2)20 年度の手帳(緑色の表紙)のスタンプの数はいくつですか。

0 個	2 人	1.1%
1 個～9 個	15 人	8.0%
10 個～19 個	36 人	19.3%
20 個～29 個	19 人	10.2%
30 個～39 個	22 人	11.8%
40 個～49 個	15 人	8.0%
50 個～	43 人	23.0%
無回答	24 人	12.8%
手帳をもっていない(登録していなかった)	11 人	5.9%
合計	187 人	100%

8. どのような介護支援ボランティア活動をされていますか。(いくつでも回

答可)(有効回答数 187)

① レクリエーションの参加・支援	50 人	26.7%
② お茶だし・配膳・下膳	43 人	23.0%
③ 喫茶などの補助	24 人	12.8%

④ 散歩・外出・館内移動の補助	10人	5.3%
⑤ 模擬店・会場設営・演芸披露などの行事の手伝い	18人	9.6%
⑥ 話し相手	35人	18.7%
⑦ 職員とともに行う補助的な活動	33人	17.6%
⑧ その他	65人	34.8%

※⑧その他は、会食会の手伝い、ふれあいセンター事業、裁縫、包丁とぎ、転倒予防体操の補助など。

9. おもな活動場所は、どちらですか。(いくつでも回答可)(有効回答数 187)

特別養護老人ホーム等	82人	43.9%
福祉センター・ふれあいセンター等	43人	23.0%
市の施設(文化センター等)	23人	12.3%
NPO法人の施設	25人	13.4%
有料老人ホーム・軽費老人ホーム・デイサービスセンター等	25人	13.4%
老人保健施設	2人	1.1%

10. 介護支援ボランティア活動として、この活動を始める前と現在では、健

康面や精神面に変化はありましたか。(いくつでも回答可)(有効回答数 187)

①張り合いが出てきた	96人	51.3%	②健康になったと思う	29人	15.5%
③変わらない	68人	36.4%	④体調をくずした	3人	1.6%
⑤その他	14人	7.5%			

※⑤その他は、健康が維持されているなど。友達ができてよかったなど。

11. 介護支援ボランティア制度について、どのように思いますか。

(ひとつのみ回答)(有効回答数 187)

① 良い制度だと思う	145人	77.5%
② 普通の制度だと思う	8人	4.3%
③ 見直しが必要だと思う	19人	10.2%
④ その他	2人	1.0%
無回答	13人	7.0%
合計	187人	100%

※④その他は、年ごとに(手帳を)切り替わらず継続して欲しいなど。

12. ボランティア活動を行う上で、困っている事等がありましたらご記入ください。

ボランティア受入機関やボランティアグループに関すること 14 件

ボランティアグループの仲間の中で毎年代表を決めるが、やり手が見つからない。メンバー募集してもその件でボランティアが入ってこない。
ボランティアグループでは、役員制度(会計・メニュー作り・材料の仕入れ)など1日の仕事が長すぎる。参加者は高齢者です。
1部の面でひとつの活動時間が長い点、少し無理に感じる事がある。
自発的活動ですが責任も伴います。仲間が簡単に休むと困ります。自分の健康管理もままならない時があります。
ボランティアだと人が集まらない。
洗濯物の名前をはっきり書いて頂きたい。
リーダーになる方がなかなか決まらず毎年大変。
現在1人で行動しているので脚立から落ちた時などの事を思うと・仲間が欲しい。
シーツの交換には、なかなか人がいません。
ボランティアの人によってやり方が違うので、引継ぎ事項を明確にして欲しい。
やる気があって入ったのに、先輩や少し前に入った方々に暖かく受け入れて欲しい。
施設へのボランティアの年齢が高齢になってきている。若い人の参加が欲しい。
高齢者の方々なので同じ絵を描くにしても体調や不自由な方もいらっしゃいます。 事前に手が震える・言葉が喋れない・トイレが近いなど教えていただければ助かります。 プライバシーの問題もあるかと思いますが・・・。
傾聴ボランティアをしておりますが、このボランティアについて施設の方がわかっていない様な気がします。早く理解していただくよう励みたいと思います。

行政・制度に関すること 6 件

末端で行う行事参加が多過ぎると思う。行政の行うべきところをボランティアでまかなっているのでは？と思う事があります。経費削減という考えで。
ボランティアをしている事について「お金もらっているんでしょう」と言われるのをつらく感じています。
若い方々と一緒にして、その方にはスタンプが付かないので不公平感を持つ。

高齢者にとって定期的に活動する事は、生活のリズムを形成し身体的・精神的に大変効果的であると思います。
市または社協でボランティア活動の活動先の紹介を、タイムリーに積極的に行ってほしいと思います。
手帳を忘れた時はダメ！と言われますが、次回に持っていけば前回の分も押す事が、人によって許されるのはおかしい。年齢制限が無い事が嬉しい。
手帳の使い方が分からない。

#### 交通機関に関すること 9 件

特養ホーム等で活動したい気持ちがあるが交通手段が不便。
時間帯・足・車・自転車など場所によって。
交通費の自己負担。
現在は近所なので自転車や徒歩で参加できますが、遠方には雨などだと行きかねる。
現在は車を運転して出掛けますが 76 歳をすぎたので近々運転をやめようかと思っています。①今後もボランティア活動に支障とならない様に iバスの増便して欲しい。②iバスだけは無料となるパスを発行して欲しい。
車での移動をやめたあとの交通。
高齢化してきたため遠い所への参加はにぶりがち。
自転車も自動車ものれないのでバスの本数が増えたらいいなと思います。
ふれあいセンターに来たい人はいますがバスが…。
福祉センターの前で止まって欲しいと言う声があります。もっと本数を増やして欲しい。現在 1~2 時間に 1 本です。
足が悪いので交通に不便を感じています。送迎していただけるのでしたら何回でも活動したいです。

#### その他に関すること 11 件

若い人の手伝いが増えると良いと思う。
楽しみにしています。
私のまわりでは高齢者のボランティアさんが多いと感じます。もう少し若い方にも参加が出来ます様願っています。
人生の先輩の方々から学ばせていただき感謝しています。
期待されるだけの力が出せなくて申し訳ない気持ちです。
時間がとれない。
介護支援ボランティア以外についても、多額の投資をしているので何らかの考慮をお願いいたします。

私自身一人暮らしの姉(80歳)・孫(共働きの息子の子)の面倒を見ることも自分の家族へのボランティアと思います。なかなか市のボランティア活動を増やす事は出来そうにありません。なるべく大勢の人が少しずつ関わるようにすれば良いのではないのでしょうか。

自分の健康では、お手伝いが出来なくなってきた。

自分の行動範囲が増えてなかなか思うように参加できない。忙しい。

一人住まいの高齢者ですが月1回のみのお手伝い、楽しんで参加させて頂いています。